

・こどもが知るべき  
ローマ人への手紙

# か

## ローマふくいんかの はじまりは なんですか？

### ローマ 1:16~17

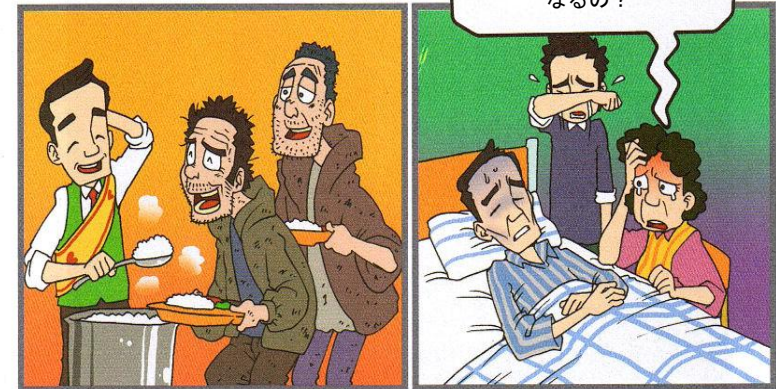
私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。

### 1. **ローマ人への手紙1:16~17** によって始めなければなりません

- (1) 福音はこの世で一番誇らしいものです (ローマ 1:16)
- (2) 福音はただ信仰によって義人のみ持つことができます (ローマ 1:17)

### 2. **ローマ人への手紙3:10、23** の理由のためです

- (1) 創世記3章の事件によって人間が神様を離れる原罪を犯しました
- (2) 創世記6章に、人間の罪が世と社会に満ちあふれました
- (3) 創世記11章に、人間はひとつとなって国を立て神様に敵対する罪を犯しました

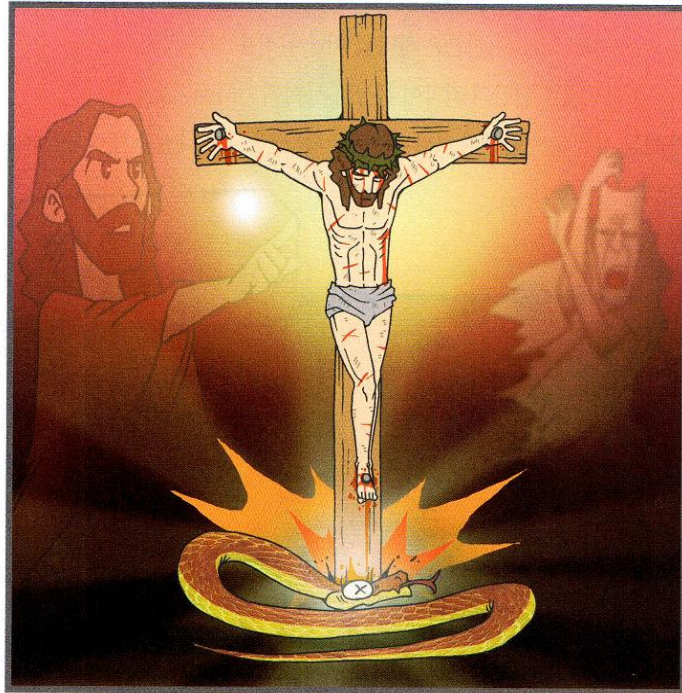


すべての人は、罪を犯したので、神からの栄養を受けることができず、(ローマ 3:23)



### 3. <sup>ひと</sup>ローマ人への<sup>てがみ</sup>手紙 5:8、6:23 <sup>あじ</sup>を味わわなければなりません

- (1) <sup>かみさま</sup>神様の<sup>あい</sup>愛を<sup>あき</sup>明らかにされました (ローマ 5:8)
- (2) <sup>つみ</sup>罪から<sup>く</sup>来る<sup>ほうしゅう</sup>報酬は<sup>し</sup>死です (ローマ 6:23)
- (3) <sup>かみ</sup>神の<sup>たまもの</sup>くださる賜物は、<sup>わたし</sup>私<sup>しゆ</sup>たちの<sup>しゆ</sup>主キリスト・イエスにある<sup>えいえん</sup>永遠の<sup>いち</sup>いのちです (ローマ 6:23)



### 背景の <sup>はいけい</sup>話 <sup>はなし</sup>

## □ <sup>ローマ</sup>ローマびとへの <sup>てがみ</sup>てがみの <sup>はいけい</sup>はいけいの <sup>はなし</sup>はなし



- <sup>だれ</sup>だれが<sup>か</sup>書きましたか：<sup>しと</sup>使徒<sup>パウロ</sup>パウロ
- <sup>いつ</sup>いつ書かれましたか：<sup>AD57</sup>AD57年
- <sup>なぜ</sup>なぜ書かれたのですか：<sup>しと</sup>使徒<sup>パウロ</sup>パウロは、<sup>とうじ</sup>当時の<sup>ちようきやうだいこく</sup>超強<sup>たいこく</sup>大国の<sup>ローマ</sup>ローマを越えて、<sup>イスパニヤ</sup>イスパニヤ（<sup>スペイン</sup>スペイン）<sup>ふくじんか</sup>福音化<sup>かんが</sup>まで<sup>かんが</sup>考えていました。  
<sup>その</sup>そのため、<sup>ローマ</sup>ローマ<sup>きょうかい</sup>教会の<sup>たす</sup>助けが<sup>ひつよう</sup>必要<sup>ひつよう</sup>でした。  
<sup>いま</sup>今は、<sup>もう</sup>もうこの<sup>ちほう</sup>地方には<sup>わたし</sup>私の<sup>はたら</sup>働く<sup>ところ</sup>べき所<sup>な</sup>がなくなり<sup>ました</sup>ましたし、<sup>また</sup>また、<sup>イスパニヤ</sup>イスパニヤに行く<sup>場合</sup>場合は、<sup>あなた</sup>あなたが<sup>たの</sup>ところ<sup>に</sup>に立ち<sup>寄り</sup>寄ることを<sup>多年</sup>多年<sup>きぼう</sup>希望<sup>して</sup>していましたので、——<sup>という</sup>というのは、<sup>途中</sup>途中<sup>あなた</sup>あなたが<sup>たに</sup>たに<sup>会い</sup>会い、<sup>まず</sup>まず、<sup>しばらく</sup>しばらくの間<sup>あなた</sup>あなたが<sup>た</sup>とも<sup>に</sup>にいて<sup>ころ</sup>ころを<sup>み</sup>満<sup>た</sup>たされてから、<sup>あなた</sup>あなたが<sup>たに</sup>たに<sup>送</sup>送られ、<sup>そこ</sup>そこへ<sup>行き</sup>きたいと<sup>望</sup>望んでいるからです、——（ローマ 15:23-24）
- <sup>また</sup>また、<sup>ローマ</sup>ローマ<sup>きょうかい</sup>教会は<sup>たいけい</sup>体系的な<sup>よういく</sup>養育<sup>う</sup>を受けることが<sup>でき</sup>できなくて、<sup>以前</sup>以前<sup>も</sup>も<sup>持</sup>持っていた<sup>りっぽう</sup>律法<sup>しゅうきやうてき</sup>や<sup>たいしつ</sup>宗教<sup>おお</sup>的な<sup>のこ</sup>体質<sup>かっとう</sup>が多く<sup>残</sup>残っていたので、<sup>葛藤</sup>葛藤<sup>も</sup>もあつたので<sup>した</sup>した。  
<sup>兄弟</sup>兄弟<sup>たち</sup>たち。<sup>わたし</sup>私は<sup>あなた</sup>あなたが<sup>たに</sup>たに<sup>ねが</sup>ねがいます。<sup>あなた</sup>あなたが<sup>たの</sup>まな<sup>おし</sup>学んだ<sup>ぶんれつ</sup>教え<sup>につま</sup>ず<sup>まず</sup>まず<sup>き</sup>きを引き<sup>おこ</sup>こす<sup>ひと</sup>人<sup>たち</sup>たちを<sup>けい</sup>警戒<sup>して</sup>してください。<sup>彼</sup>彼ら<sup>から</sup>から<sup>と</sup>と<sup>遠</sup>遠ざ<sup>かり</sup>かりなさい。（ローマ 16:17）
- <sup>それで</sup>それで、<sup>パウロ</sup>パウロが<sup>せい</sup>正確<sup>な</sup>な<sup>すく</sup>救い<sup>を</sup>を<sup>せつめい</sup>説明<sup>して</sup>して、<sup>福音</sup>福音<sup>に</sup>に<sup>あ</sup>あつて<sup>とも</sup>とも<sup>に</sup>にする<sup>こと</sup>ことが<sup>ど</sup>ど<sup>れ</sup>れ<sup>ほ</sup>ほど<sup>しゅく</sup>祝福<sup>である</sup>である<sup>こと</sup>ことを<sup>し</sup>し<sup>ら</sup>せ<sup>よう</sup>ようと<sup>か</sup>か<sup>い</sup>いた<sup>ので</sup>のです（ローマ 16章）

こどもが知るべき  
ローマ人への手紙



# か

ローマふくいんかの  
ちからは  
なんですか？

## ローマ 8:1~12

こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。(1~2)



## 1. 私たちを3つのことに勝たせてくださいます

- (1) 肉に勝たせてくださいます (ローマ 7:18~19)
- (2) 悪に勝たせてくださいます (ローマ 7:21)
- (3) こまってしまう苦しい状態に勝たせてくださいます (ローマ 7:24~25)

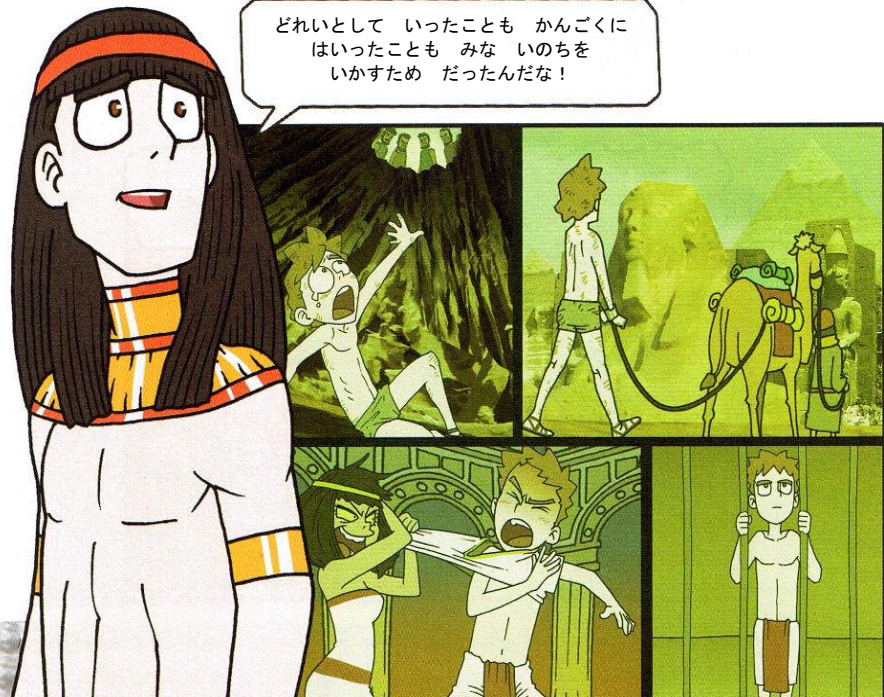
## 2. 神様が私たちを生かされました

- (1) いのちの御霊の原理で生かしてくださいました (ローマ 8:2)
- (2) 敵対する場にいた私たちを生かしてくださいました (ローマ 8:7)
- (3) 子としてくださる霊をくださいました (ローマ 8:15)



### 3. キリストから引き離すものはありません

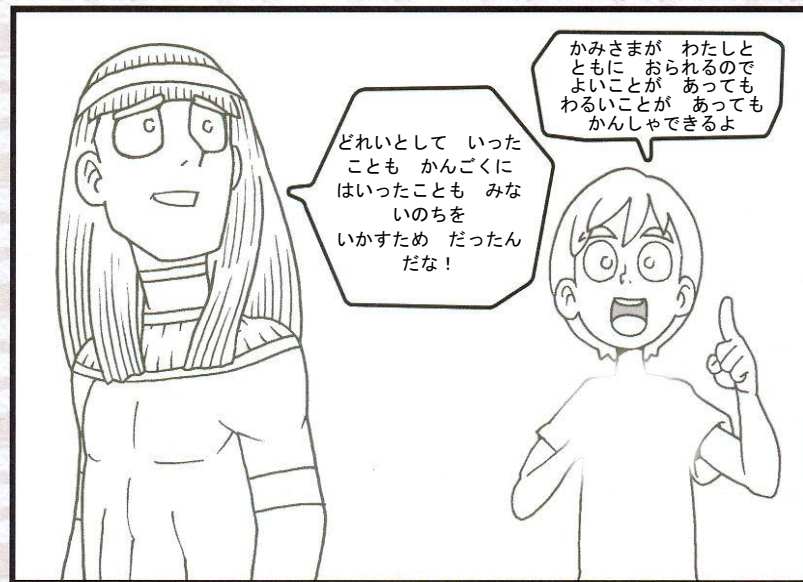
- (1) 聖霊さまが私たちのために祈ってくださいます (ローマ 8:26)
- (2) すべてのことを働かせて益としてくださいます (ローマ 8:28)
- (3) キリストの力から引き離すことはできません (ローマ 8:35~39)  
患難、苦しみ、迫害、飢え、裸、危険、剣、死、いのち、  
御使い、権威ある者、今あるもの、後に来るもの、力、高さ、  
深さも引き離すことはできません



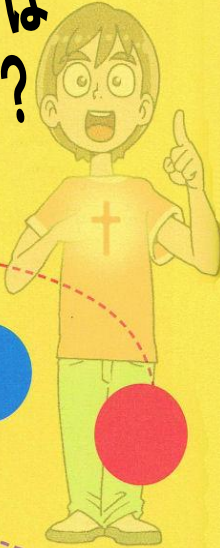
### 考えてみよう

- ① キリストの力の中にあるなら、どんなことも問題になりません。それでも私に続けて問題として残っていることは为什么呢。それなら、これからどのような信仰をそなえればよいのでしょうか。
- ② 私のすべての問題を解決されたイエス・キリストを毎日、どのように味わっていますか。私のものにしたい祈りの奥義はありますか。

いろぬり □ローマ人への手紙を黙想しながら色をぬろう



# ローマふういんかの けんしんは なんですか？



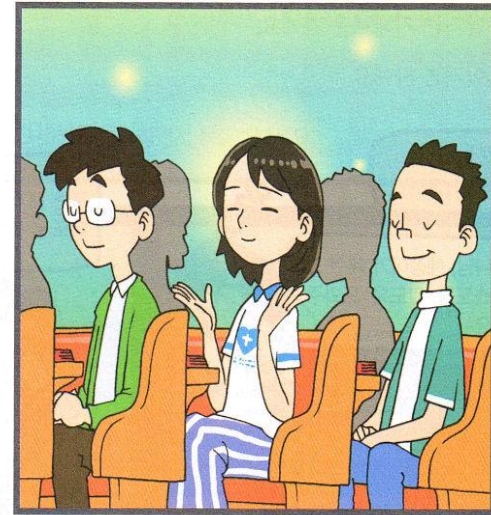
## ローマ 12:1~2

そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。(1)

# か

## 1. 新しい生活を知る者の献身です

- (1) からだを生きた供え物としてささげる霊的な礼拝の献身です (ローマ 12:1)
- (2) この世(世代)と調子を合わせない献身です (ローマ 12:2)
- (3) 神のみこころをわきまえる献身です (ローマ 12:2)



## 2. すべての信徒がひとつのからだの器官であると知る献身です (ローマ 12:3~13)

すべてに与えられた量りに応じて、憤り深い考え方をすべきです。  
喜びをもって善に親しみなさいと言われました。

3. 善をもって悪に打ち勝つ者です (ローマ 12:14~21)

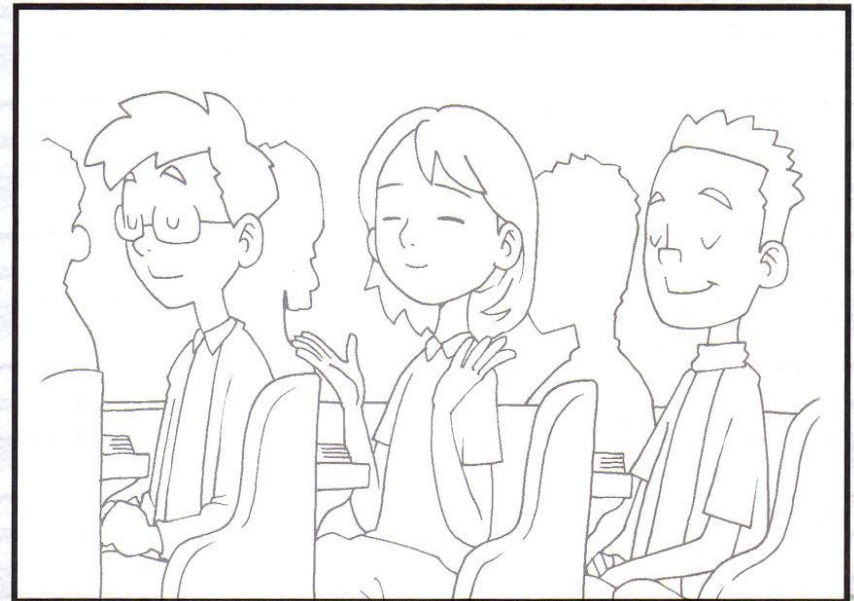
- (1) とともにする力がある人です (ローマ 12:14~15)
- (2) 低いところに心を置く者です (ローマ 12:16)
- (3) すべての人と平和を保つことができる人です (ローマ 12:18)
- (4) 敵を主に任ず知恵を持った者です (ローマ 12:19)
- (5) 善をもって悪に打ち勝つ者です (ローマ 12:20~21)



考えてみよう

- ① 私は神様に どのような心で礼拝をささげているかな。
- ② ときどき、教会で反だちとけんかすることはありますか。そんなとき、私はどうしているのかな。

いろぬり □一人への手紙を黙想しながら色をぬろう



# か

## ローマふくいんかの しゅやくは どんなひとでしたか？

### ローマ 16:1~27

わたしの福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。(25~27)

### 1. 裏面契約を持った人たちです

- (1) 助ける者です (ローマ 16:1~2)
- (2) 同労者です (ローマ 16:3~4)
- (3) 愛する者です (ローマ 16:5)
- (4) 労苦する者です (ローマ 16:6)
- (5) 同国人です (ローマ 16:7)
- (6) 練達した者です (ローマ 16:10)
- (7) 家主です (ローマ 16:23)



## 2. 霊的な戦いに打ち勝った者たちです

- (1) 分裂から離れた者です (ローマ 16:17)
- (2) 利益のだましから離れた者です (ローマ 16:18)
- (3) 善にはさとく、悪にはうとい者です (ローマ 16:19)
- (4) サタンを知る者です (ローマ 16:20)



## 3. 時刻表を知る者でした (ローマ 16:25~27)

- (1) 世々にわたって長い間隠されていた福音を知りました (ローマ 16:25)
- (2) 今や現わされた福音を知りました (ローマ 16:26)
- (3) とこしえまで栄光をささげられる福音を知っていました (ローマ 16:27)

## 背景のはなし

### ローマ人への手紙16章に出てくる 人たちは、だれかな？

・「お～私の愛する者！」「お～私の同労者！」パウロが人々につけた呼び名だけ見れば、ラブレターだと誤解するかもしれません。それほど、パウロはローマ人への手紙16章の人々を心から愛していました。その当時、福音をあかしすれば、いのちがなくなることも覚悟もして、牢獄に入れられたりもしました。職場がなくなることもあり、友だち関係も切れることもありましたが、しかし、この人々は、すべてのことがなくなっても福音がよかったのです。伝道者を助けることがいちばん幸せでした。彼らの中には奴隷もいて、王族もいましたが、身分は関係ありませんでした。伝道者が牢獄に行くとき、いっしょについて行ったりもして、いのちをかけて伝道者の手紙を伝えたりもしました。

・ローマ福音化はどのようになされたのでしょうか。ローマ人への手紙16章の人物を考えてみると、少しずつ理由が発見できます。私たちは、福音の価値をどれほど知っているのでしょうか。友だちと先生とフォーラムしてみましょう！